

令和5年度 青少年心理アドバイザー 登録一覧表

| 番号 | 氏名 | 生年 | 自宅住所 | 資格、所属等 | 応じやすい曜日等 午前・午後・夕方 | 抱負・得意分野等 |
|----|-----------------------|-----|------|--|--|--|
| 1 | うちこし みのる 打越 實 | S26 | 水戸市 | 臨床心理士 私立高校スクールカウンセラー | 月・前後 火・前後 土・1日 日・1日 | 現代の世の中は社会構造や生活が変化し、児童、生徒や青少年の人たちが生きにくい環境になっています。成長しても自分が自分らしく生きぬく社会適応の力が十分に身につかず、うまく適応できなくなり、仕事に失敗して「自己肯定感」がなくなり、ニートや家に引きこもる青年が増えています。これらの人々が生きるために、その背景や経過を分析し、その改善を図りながらサポートするだけでなく、彼らを支える地域や家族の支援を大切にしたいと考えています。 得意分野:発達障害臨床心理学、発達心理学、臨床心理学、応用行動分析、認知行動療法、青少年心理学、障害者の地域支援 |
| 2 | おごせ とおる 生越 達 | S35 | 水戸市 | 茨城大学教育学部教授 茨城県スクールカウンセラー | 月・夕方 水・前夕 木・夕方 金・土・日1日 | 現代の子どもたちは、難しい社会に生きているように思います。そして、子どもたちを学校・家庭・地域で力を合わせて支えていく必要があるように感じています。子どもたちの問題を一緒に考えることにより、私たちに出来ることや、さらにはこれからの社会の進むべき方向性についても探っていくことができれば、と思っています。 |
| 3 | かなざわ こういちろう 金澤 浩一郎 | S35 | 水戸市 | 臨床心理士 公認心理師 内原カウンセリングルーム 南山会酒門診療所 スクールカウンセラー | 月・1日 木・1日 金・後夕方 日・1日 ※3、4、7、8月は、この限りではありません | 個人開業のカウンセリングルーム、精神科心療内科の病院、学校という三つの領域で、カウンセラーとして臨床の仕事をしています。思春期青年期に多発する症状や問題行動と言われるものに関心を持ち、その見立て(アセスメント)や心理療法(カウンセリング、遊技療法)に携わってきました。子どもから大人まで、話だけでなく、夢、箱庭、絵などのイメージを大切にしたりやり方で行っています。これらの経験をいかしながら、お役に立てればと思っています。 |
| 4 | よしむら ひさし 吉村 尚 | S15 | 水戸市 | 元学校カウンセラー (公社)いはらき 思春期保健協会 業務執行理事 | 金・1日 ※1か月前であれば、曜日・時間の制限はありません | ○青少年の理解や傾聴訓練(人間関係づくりの支援) ○家庭教育や子どもをとりまく家庭問題への支援 ○反社会的な問題行動への対応 ※「いじめ」や「自殺」の未然防止について ○演習では、ロールプレイなども取り入れた研修も可能です。 |
| 5 | すずき ひろこ 鈴木 宏子 | S20 | 高萩市 | 公認心理師 臨床心理士 学校心理士 茨城県スクールカウンセラー | 月・1日 木・1日 金・1日 土・1日 日・1日 | 問題行動を呈している青少年の方々とお会いしています。彼らが周囲に対して「理解してほしい」と「理解してほしい」の葛藤に揺れ、苦悩している姿にいとおしさを感じています。自立して生き抜いていくためには、自己肯定感が欠かせません。その自己肯定感を育てる環境づくり、心情を言語表現できるスキルトレーニング、エンカウンターやロールプレイ等、いろいろな手法で共にサポートさせていただけたらと考えています。 |
| 6 | やまざき こういち 山崎 浩一 | S49 | 高萩市 | 臨床心理士 特別支援教育士(S.E.N.S) 公認心理師 スクールカウンセラー 茨城県カウンセリングアドバイザー | 月・夕方 水・夕方 | 小中学校での臨床活動(スクールカウンセラー)を中心にしながら、子どもや保護者、教職員、地域の方々へのサポート活動などを行っています。 子どもが持っている能力や可能性を見出し、豊かな育ちを応援したいと考えています。関係作りのワーク、演習、事例検討など、具体的な活動や動きを取り入れた研修を通じ、みなさまと共に学ぶことができましたら幸いです。 |
| 7 | あべ せいいち 阿部 誠一 | S40 | 鹿嶋市 | 公認心理師 キャリア教育 コーディネーター(経済産業省) 中学高校スクールカウンセラー | 月・1日 火・1日 土・1日 日・1日 ※1か月前であれば、曜日・時間の制限はありません | ○青少年に対しては①知識・情報・技術等を「教える」ことにより導く(指導)②個々の思い・悩み・ストレス等を引き出すことにより向き合う(カウンセリング)、という2つの相反する対応が必要です。 ○家庭の教育力が低下した現在、そういう学びの機会・場所は限られており、①②の両方に対応できる人材の不足・社会体制の不備を感じておりました。 ○私は左記の活動等を通して、「自己肯定感」育成を自らのライフワークに位置付け、努力してきました。 ○対処療法だけでなく、「自己肯定感」育成を目的とする家庭教育学級、セルフカウンセリングワークシート開発、グループワーク、思春期保健講座講師等を行っています。 |

令和5年度 青少年心理アドバイザー 登録一覧表

| 番号 | 氏名 | 生年 | 自宅住所 | 資格、所属等 | 応じやすい曜日等 午前・午後・夕方 | 抱負・得意分野等 |
|----|--------------------|-----|--------|--|--|--|
| 8 | やまぐち とよかず 山口 豊一 | S28 | 銚田市 | 臨床心理士 学校心理士SV 特別支援教育士 SV (sens-sv) 公認心理師 聖徳大学教授 | 月・1日 火・前後 木・後夕 土・午前 日・前後 | 学校心理学の理論と技法を基に、青少年の内面(心)の理解とサポート方法を探っていけたらと考えています。その際、二つの視点があります。第一に、青少年の心の悩みの状況です。特に青少年は「思春期・青年期」の時期であり、情緒的に不安定です。学習面、心理・社会面、進路面、健康面より理解し援助します。第二に、教師・保護者・地域社会がチームとなり、サポートすることです。保護者と一緒に行う「チーム援助」については、カウンセラー、ソーシャルワーカーなどとの連携の視点から考えたいと思います。 |
| 9 | おぬま えみ 小沼 恵美 | S49 | 牛久市 | 公認心理師 スクールカウンセラー | 曜日等はお相談ください | 県内の公立学校と私立学校でスクールカウンセラーをさせて頂いております。 少年院やクリニックで青少年と関わることによって、問題行動を未然に防止するために、いろいろな立場の大人がどのようにサポートしていくことが大切なのか、多様化している青少年の「こころ」と「環境」について、一緒に考えることができる機会を頂ければあればありがたいと思います。 |
| 10 | むかい たかよ 向井 隆代 | — | つくば市 | 臨床心理士 聖心女子大学教授 | 当面、月曜日 午後以降と大学の 休暇時期(8月、9月、 2月)に限らせて いただきます | これまで発達心理学を専門として研究してきた経験と日本とアメリカでの臨床活動経験を青少年の理解に役立てることを目指しています。福島県、栃木県、茨城県でスクールカウンセラー活動の経験があります。現在、学童期の愛着の査定に関わる研究を医療機関や児童養護施設と協力して行っています。 |
| 11 | もりや えいこ 守屋 英子 | S27 | つくば市 | 公認心理師 臨床心理士 芸術療法士 茨城県教育研修 センター教育相談 部非常勤相談員 茨城県スクール カウンセラー | 木・前後 金・前後 日・前後 ※曜日等は流動 的ですので、ご相 談ください | 子どもの心を健康に育てることがとても難しくなっていると感じています。子どもが何か問題を起こしたことを機会として、学校・家庭・地域の大人達が、その子どもの特性や今までの育ちについて考え、その子どもより良い成長とは何かを考え、子どもに関わっていくことが大切なのではないかと思っています。 子どもたちの心の成長について一緒に考えていくことができればと思っています。 |
| 12 | さとう みよこ 佐藤 みよ子 | S45 | 東京都 | 公認心理師 臨床心理士 | 月～土・後 日・前後 | 教育・福祉・医療など様々な現場で、お子さんや保護者の方々、その関係者(例えば、保育者や教師など)を対象とした支援活動を行ってきました。その中で「1人のカウンセラーが支援できる人の人数には限界がある。しかし、親や教師を支援できれば支援の可能性はぐんと広がっていく」「保護者や関係者自身の心身の健康を高めることが息の長い支援につながる」と強く感じるようになりました。研修会では、「リラゼーション」「リピーティング・クエスチョン(言葉を使った「気づき」のワーク)」などの体験学習を取り入れることで、参加者が自ら感じ、気づき・理解すること、そして、研修で得たものを日常生活・支援活動に取り入れて自ら行動できるように意識しています。 発達や心の問題を通して、「子ども」はもちろんのこと、子どもを取り巻く人々も生き生きとした時間を過ごせるような支援活動を行いたいと考えています。 |
| 13 | ふじわら えみこ 藤原 恵美子 | S33 | 東京都葛飾区 | 公認心理師 臨床心理士 特別支援教育士 東京都スクール カウンセラー 女子美術大学講 師 | 曜日等はお相談 ください。 | 大学院にて、幼児期にソーシャルスキルトレーニングを行う効果の研究をしてきました。 現在、学校現場でのいじめや不登校などの問題の一つとして、子どもたちの対人関係の未熟さに起因すると感じられることが多々あります。 私は青少年心理アドバイザーとして、このような問題解決の一助となるように、子どもたちにはソーシャルスキルトレーニングを、大人も含めてはストレスマネジメントやアンガーマネジメントの実践的研修を行い、また、子育て中の保護者の方には、子育てが楽になるペアレントトレーニングなどの講義を提供したいと考えております。 |

令和5年度 青少年心理アドバイザー 登録一覧表

| 番号 | 氏名 | 生年 | 自宅住所 | 資格、所属等 | 応じやすい曜日等 午前・午後・夕方 | 抱負・得意分野等 |
|----|--------------------------|-----|------|---|----------------------|--|
| 14 | あさい かずゆき 浅井 和幸 | S47 | つくば市 | 精神保健福祉士 浅井心理相談室 代表 | 曜日等はお相談ください | 平成14年より個別の心理相談を行いながら、不登校・ひきこもり・ニート、要保護児童、障害、居住、生活困窮などの多様な分野への支援を行っています。個人個人の力、地域の社会資源の力、社会資源の連携の力を引き出すことが大切だと考えています。どのようなことでも質問してください。 |
| 15 | あおやぎ けんじ 青柳 賢治 | S40 | 笠間市 | 認定心理士 公認心理師 茨城大学保健管理センター（カウンセラー） 茨城県こころのホットライン（相談員） 茨城県スクールカウンセラー | 曜日等はお相談ください | 幼児から大学院生までの様々な心理的問題の解決に向けた支援を日々行っています。 以下のテーマに関する研修の講師や授業を行った経験があります。 「SOSの出し方・受け止め方」「自傷行為への対応」 「LGBTQについて」「精神発達症（発達障害）」 「性に関する相談の対応」「人間関係づくり」 「エゴグラム活用法」「Hyper-QU活用法」 「学習意欲を高める指導」「学習性無力感とは」 「児童虐待について」「いじめについて」 |